

【授業の到達目標および概要】

関係教員および学生全員が出席して行う演習であり、1年後期および2年前期に実施する。また、英語での質疑応答の機会を通して専門用語を交えた対話に慣れ親しむ。

1年後期の総合演習は、指導教員の指導のもとに研究テーマに関連する外国文献を選択し、その内容を解説する。また、自らの研究に参考にできることや、選択論文の研究の限界や改善点など、教員・学生間で討論する。外国文献を読んで内容を十分に理解することを目標とする。質疑応答は英語でも可とする。学校保健教職専門コースにおいては、学校保健に関するテーマについてのシンポジウムや講演会などの企画から運営までを担当する。チームで取り組み、組織的に健康課題を解決するための企画力、実行力、調整力を身につけることを目標とする。

2年前期は、各自の研究テーマ及び内容についての研究計画と現段階までの進行状況や今後の取り組みや課題について発表を行い、修士論文完成に向けてのアドバイスを受ける機会とする。この総合演習は保健学の様々な分野を勉強する貴重な機会となるので、学生も主体的に討論に加わることが求められる。学校保健教職専門コースにおいては、本コースで身につけたい能力（課題）を明確にし、達成するための方法について発表し、質疑応答やディスカッションを通して計画を改善・発展させるための演習を行う。

【授業計画】＜英語併用可＞

1年後期（11月～12月）と2年前期（6月～7月）に実施予定。

日程は別途決定とするが、平日の5、6時限に発表を行う。

【授業外学習】

2年間の修士課程の節目になる演習である。総合演習の目的に適った発表が行えるように、各人が修士のテーマに沿って計画的に準備を進めておくこと。

【成績評価の方法・基準】

学生は1年後期と2年前期に各1回ずつ発表を行い、発表内容や討論への参加態度等により評価する。

【教材】

各自用意して配布